



合格体験記

- ➡ 富山県出身 女子 1年生 総合型選抜

- ➡ 私は高校では建築を学んでいましたが、一軒の建築物を設計するだけでなくもっと大きなまちという分野に携わりたいという思いから、まちづくりに興味を持ちました。また、地元の賑わいの低下や人口減少が進行しているため、まちづくりの中でも地方創生について学び、将来地元貢献したいという思いがあり都市・交通デザイン学科への受験を志望しました。入試の前には、学科について、自分が学びたいことについてとにかくたくさん調べました。知識を蓄えておいたことで面接の際に専門的なことを聞かれても、すらすら答えることができました。入試1週間前からはプレゼンテーションの準備が入ってきて、やるべきことがとても多く本当に大変だったので、早いうちから対策が可能なレポート作成や面接練習などは1日でも早く対策をはじめることをおすすめします。後悔せず入試を迎えられるように頑張ってください。

- 群馬県出身 1年 女子 総合型選抜

- 私は人より大学をきめるのが遅く、受験勉強を本格的にはじめたのは高校三年の夏前でした。総合型選抜ではやることが沢山あるので、とても大変でした。毎日2次の理科系の単語を暗記し、事象などをまず自分の言葉で説明できるようにし、その後に小学生にわかりやすいように言葉を変え、絵なども使ったりしました。グループディスカッションは正直ぶっつけ本番です。面接も質問を考えて、自分で答えたりしていました。ですが、いろいろと忙しく、先生とは一回も練習できませんでした。プレゼンでは、一週間前にお題が配られたので、最後の一週間はずっとプレゼンをしていました。とにかくそのお題についての知識を身につけてください。なんとかあります。簡単ではありますが、私がしてきた勉強方法です。参考になれば幸いです。正直何が出るか分からなくて不安かもしれません。ですが、勉強しなきゃ何も始まらないので、皆さん頑張ってください。



■ 青森県出身 1年 男子 総合型選抜

■ 私は興味を持っていたまちづくりを、この富山というフィールドで学べること、グループワークやフィールドワークの充実、優秀な先生方と楽しそうに学ぶ生徒の姿をオープンキャンパスで実際目にして、魅力を感じ志望しました。入試では、海外経験の知識を生かして、自分が今思うまちづくりに対する思いや、この学科でどう能力を発揮していくかをアピールしました。入試対策をする際にはある程度の知識を蓄えておくことが重要です。自分の考えと知識をきちんと述べていけることが合格につながってくると感じます。対策は大変だと思いますが何度も練習、工夫をして自分の能力を発揮できることを願っています。頑張ってください！



➡ 1年 栃木県出身 男子 後期入試

➡ 私は後期試験で合格したこともあり、富山大学の入試に関してあまり詳しくありません。そこで今回は、受験について、2つアドバイスをさせて下さい。1つ目は、自己流を貫き通すことです。世間ではNGと言われている勉強法でも、自分には合っていて、模試などでも成長を実感できるのであれば、是非貫いて下さい。周りの人の勉強時間や勉強内容は一切気にしないことをおすすめします。2つ目は、強固な基礎力をつけることです（特に理科）。これは、誰でも一度は耳にする言葉だと思いますが、実践できている人はごく少数だと思います。模試で点数の上がり下がりが激しい人は特に、基礎力が欠けている証拠だと思います。特に物理の公式は、厳密な証明は出来なくても、定性的理解は出来ます（原子分野は例外あり）。問題演習をする際は、公式を思い出しながら解くのではなく、原理を思い出しながら解いてみましょう。そうすることで、かなり難解な問題が解けたり、マーク試験で9割以上が安定したり、あらゆるメリットがあります。理科科目が安定すると、マーク試験全体の点数も安定し、2次試験の強力な武器にもなります。以上です。皆さん頑張ってください！

神奈川県出身 1年 男子 前期入試

- 勉強をひたすらする前に将来自分のやりたいことが何なのかを知り、それを実現するにはどんな大学のどんな学部、学科に行けばいいのかを、研究室、教授、研究を協力している企業など、いろいろ調べるべし。自分はそれを高校一年の時にやり、行きたい学部系統を絞ることができた。興味についてまだわからないという人は、何を研究しているのか研究室のページや研究内容などをたくさん見てみるといい。そのうち「これ面白そう」と興味が湧いてくるはずだから。
- 次に勉強面。理系でも社会と国語を舐めるな。自分は、理系なのに理科科目が苦手だった。現に共通テストも点数が振るわなかった。しかし、国語と社会の点数がよかったため、何とかA判定をもらうことができた。国語は古文と漢文が得意ではなかったが週に一回レベルで共通テストまでずっと勉強していた。社会は倫政の授業を選択していたのだが倫理がすこぶる苦手で、社会科の先生と相談すると、「現社は倫理と政経を浅く広くやる感じだからそれを両方深掘する倫政より簡単だ。」というアドバイスをもらい、志望校に倫政縛りが無いことを確認し、現社に切り替えた。意外とオススメである。次に過去問。私は、共通テストを終えてから国公立大の過去問に取り組んだ。共通テストの結果がわからない限りは国公立どこを受験するかは定まらないからである。そのため、受験予定の私立大の過去問を共通テスト前からちょこちょこ解いていた。赤本は富山大のものしか買っていない。都市・交通デザイン学科の前期入試には総合問題というものがあるが、文章読解力、作文力、図表を読み取る力を付けておくといい。自分が入手した過去問には作文力を問うような問題はなかったように感じたのだが、実際の問題には作文形式の問題、しかも300文字～600文字も書かなければならない問題が出た。そんな対策はしてこなかったのでとても焦ったが、何とか押し通すことができた。日ごろから文章読解の勉強をしていたため、文章読解には時間がかからず、文の構成を練るほうに時間を割くことができたからだ。とにかく私が言いたいことは、「自分の進路を明確にし、そこにつながるような大学を細かく調べること」「理系でも国語と社会をあきらめないこと」この二つだ。つらいことがあるかもしれないが、全部自分の将来のため！夢に向かって頑張れ！

群馬県出身 1年 男子 社会人選抜

〈志望理由〉

私は以前、鉄道系建設会社に高校卒業をしてから6年間勤めていました。私が社会人として大学進学をしようと思ったきっかけは、様々な要因から自分は定年までこの仕事を続けたいのかという自問自答をし、また自分は何をしたいかと考えた上で大学進学を選択しました。大学進学を考える中で、この学科を選んだ理由としては以下の理由があります。

- ・自分の今までの知識、経験を活かせる。
- ・土木、建築などの建設系分野の仕事に面白さを感じていたこと。
- ・都市・交通デザインという広い視野で、街づくりを考える事ができ、また現実における課題についてフィールドワークやグループワークにより課題解決するという学び方に、他大学・学部にはない特色を感じたため。

〈試験対策〉

社会人選抜の試験内容は、面接と小論文でした。小論文の試験時は、第一に文章の構成に気をつけて書き、自分の述べる文章に矛盾がないこと、また難しい言葉などを使わず、相手に分かりやすく伝えるように意識しました。前職で何度か論文を書く機会があったため、対策としては特に行っていません。面接の試験時は、自分が書いた志望理由書の内容（志望理由、大学で学びたい事、卒業後の進路）、前職での経験談などの事についてはどれだけ深掘りされても中身と自分の考えを答えられるように対策しました。また、基礎知識として学科の特徴や学習内容、取り組みについては徹底的に調べました。試験対策において、小論文は過去問があるため傾向について知れたが面接の対策は内容が分からなかったため対策が難しかったです。

〈入学後・大学生活〉

社会人から大学進学をする上で、様々な不安要素があると思います。授業料と生活費、勉強についていけるか、卒業後の進路、年下の同級生となじめるかなどあると思いますが、自分は大学に進学したい気持ちがあれば進学することをお勧めします。私も職場や友人から反対を押し切った進路決定になりましたが、現在後悔はありません。そのためには確信ある念密な人生設計をすることが大事です。私が今大学生活で少し苦労している点は、力学や微分積分などの理系分野の計算に非常に苦労しています。そのため、進学の際は高校範囲をしっかりと振り返る事が大切です。ぜひ、大学に進学してみたいという方は人生で大きな選択になると思いますが、受けてみてください。